

## 「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

## 中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
24-4	大型実験および数値解析による連続アーチカルバート盛土の設計規範の構築に関する研究	京都大学 教授 木村 亮	A

## &lt;研究の概要&gt;

プレキャストアーチカルバートを盛土内に連続的に設置する構造物の耐震性能を検討し、その設計規範の構築を目指す。盛土構造の弱点とされていた地域分断や閉塞感を解消し、地域の要望から橋梁を選択しなければならない地点でも盛土構造の導入を可能とし、快適で災害に強い社会資本整備をコスト削減施策の中で進めていくことが可能となる。

## &lt;中間評価結果&gt;

研究の進展に伴う課題も明確化され、今後の研究計画に適切に反映されており、現行のとおり推進することが妥当と評価する。

## &lt;参考意見&gt;

1. 実験と並行して、数値解析も精力的に進めていただきたい。
2. 実験と解析の比較が、設計基準の提案で重要であると考えるので、その内容を記述していただきたい。
3. 設計規範の提案にあたっては、適用範囲や留意事項などについても盛り込んでいただきたい。